

SOMPOケア大泉学園定期巡回・随時対応型訪問介護看護 介護医療連携推進会議 記録

開催日				開催時間			
2018	年	7	月	20	日	10	: 30 ~ 11 : 30

■出席者

名前	所属	名前	所属
K・M 様	大泉学園支所	A・K 様	ホームクリニックえにし
Y・H 様	南大泉支所	H・H 様	訪問看護ステーションわかば
T・T 様	大泉北支所	I・A 様	ケアプランゆとりな
Y・S 様	やすらぎミラージュ支所	K・N 様	日本ケアプラザ練馬ステーション
Y・Y 様	岡田医院	M・M 様	トータル・ケア
K・N	本社	N・N	SOMPOケア上石神井
K・K	SOMPOケア大泉学園	S・Y	SOMPOケア大泉学園
N・Y	SOMPOケア大泉学園		

1 開会のあいさつ	<input type="checkbox"/>
2 介護・医療連携推進会議の参加者のご紹介	<input type="checkbox"/>
3 会社概要（動画）	<input type="checkbox"/>
4 定期巡回・随時対応型訪問介護看護とは？	<input type="checkbox"/>
5 実績報告	<input type="checkbox"/>
6 サービスへの評価・要望・助言	<input type="checkbox"/>
7 協議会メンバーからのご連絡	<input type="checkbox"/>
8 閉会のあいさつ	<input type="checkbox"/>

■記録

1.開会のあいさつ

平成30年7月のSOMPOケア大泉学園定期巡回随時対応型訪問介護・看護、医療連携推進会議を始めまいります。本日の議事進行をさせていただきます、SOMPOケア株式会社東京第三事業部第7エリアのスーパーバイザー喜多と申します。宜しくお願いします。今年の6月まで旧ジャパンケア大泉学園という名前で定期巡回の事業所を運営していたのですが、7月からSOMPOケア大泉学園と事業所名を変更いたしました、定期巡回の事業を進めていくというところでございます。この前には平成30年4月に社名の方もSOMPOケア株式会社になりました。練馬区のエリアで大泉エリアを私が担当しているのですが、練馬区は大きく4つのエリアに分けております。大泉地域の他、上石神井、中村橋、光が丘それぞれにSOMPOケアが運営しております、訪問介護や定期巡回を含め特定施設ですとか、サービス付高齢者住宅などありますのでその地域にいらっしゃる方の生活を支えていく中で色々なサービスを選んでいただき、地域で支えていくというところでございます。

2.参加者のご紹介

3.会社概要（動画）

SOMPOケアの動画を見ていただく

4.定期巡回随時訪問介護・看護とは

定期巡回は短時間複数回訪問をするというサービスになっております。それ以外にコール機を置かせていただいて、必要な時はコールを鳴らしていただきます。オペレーターが24時間おりますので、そこでどうしたのかを確認してヘルパーがかけつけるというサービスになります。介護と看護が連携をしていくサービスですので、コールがなった時に医療なのか介護なのかによってオペレーターが判断をして、医療の事であれば看護師や医師に連絡をして指示をもらったりというサービスになっております。

この会議ですが、前年度までは年に4回推進会議として開催しなくてはいけなかったのですが、今年度の4月から1年に2回になりました。目的としては在宅の生活を継続するために地域の課題を共有して推進していく会議という事をうたっております。始まって6～7年たっておりますが、最初は手探りな状態でした。まるめですので、色々なサービスをつけていたのですが、反対にやりすぎで利用者様が何もやらなくなったり、家族様もノータッチになる事例もありました。そこから会社でもアセスメントなど色々勉強を致しまして、最初の段階でよくアセスメントをする必要があるという事が判りました。例えば福祉用具を入れたり、部屋の配置を変えたりなどしたり、必要な時間帯に回数を設けて訪問をするという事などです。買い物などもコンビニで配達などもありますし、お弁当を利用したりもします。そこで空いた時間を身体介護にあてるという事も出来ますので、この様にご利用されている方が多いです。

コール機なのですが、（見本あり）来月から新しいものに変更いたしました、コール機をご自宅に置いていただき、移動時はペンダント式に首から下げていただき、もしもの時は押していただく形になっております。通話料は介護保険外ですので、1分42円自費でいただくことになっております。

このような感じで定期巡回は短時間複数回入ることによって出来る限り在宅生活を継続出来るように訪問介護と看護の下で、適切なアセスメント・マネージメントに基づき、定期巡回訪問と通報システムによる随時対応等を適切に組み込まれたサービスという事になっております。

5.実績報告（サービス提供状況の報告 2018年4月～7月15日現在）

～在宅～

利用人数： 4月8名 5月11名 6月11名 7月10名
 新規人数： 4月0名 5月 4名 6月 0名 7月 0名
 終了人数： 4月1名 5月 0名 6月 1名 7月 0名
 要介護度別利用者数：介護5/2名 介護4/5名 介護3/1名 介護2/1名 介護1/1名
 年齢別利用者数：64歳1名 75～79歳1名 80～84歳3名 85～89歳3名 90～94歳2名
 訪問看護別利用者数：アセスメントのみ4名 介護保険訪看6名 医療保険訪看0名
 移動時間：平均15分位の方が多し

～サービス付高齢者住宅～

利用人数： 4月16名 5月15名 6月13名 7月13名
 新規人数： 4月 0名 5月 0名 6月 0名 7月 0名
 終了人数： 4月 0名 5月 1名 6月 2名 7月 0名
 要介護度別利用者数：介護5/2名 介護4/2名 介護3/4名 介護2/0名 介護1/5名
 年齢別利用者数：80～84歳8名 85～89歳4名 90～94歳1名
 訪問看護別利用者数：アセスメントのみ3名 介護保険訪看10名 医療保険訪看3名
 移動時間：すべて5分以下

6.サービスへの評価・要望・助言

★このサービスを使いながら、どのようにお看取りまでもっていただけるのでしょうか？お看取りのケースでこういうのであれば対応できる、もしくはこういうのは難しいというケースを教えてください。前提が判っていないと中々ケアマネさんとも相談出来なかつたりもします。

回答：終末期の方も何名かいらっしゃいました。ご家族がいらっしゃる方と独居の方と訪問回数も違ってきますが、最近のケースで介護の方でやる事が排泄のみだったんですね。その後医療の需要が増えてきたので、訪問介護に切り替えました。その他のケースで安否確認と水分補給のみで5～6回入っていました。看護師さんも医療で入れる事もございますので、それによってなるべく一人の時間を減らすように看護師さんと時間を合わせてケアマネさんにプランを変更していただいたりしました。看取りとはいえ、ぎりぎりになって家族様がやはり病院へ行くといったケースもあります。介護の方からするとすぐ連絡がつくという医療機関があるのはとても心強いんですね。すぐに連携がとれる看護師さんやお医者さんがいてくれるのはありがたいです。

★途中で病院に切り替えたとするのは、介護で1日5～6回+医療で看護が2回くらいと結構な頻度で来ているので、ご家族様からすると来てくれているな、という印象があると思うのですが、特別な医療的なケアが必要だから（病院へ）行ったのか、それともやっぱり病院の方が安心かなという事なのでしょうか？

回答：そうですね。もうちょっと治療出来ないか、という事です。最初にお話をちゃんとしているのですが、家族様は最後になると病院でなんとか出来るのではないかというような望みがあるようです。

★サービス提供者側からの意見としては十分やっているかな、という印象はお持ちだという感覚でよろしいのでしょうか？

回答：そうですね。尿量も段々少なくなってきますし、緩和治療としては体を拭いたり、お口をぬぐったり、体交することくらいですね。後は看護師さんの指示の下になります。

★ケアマネジャーの立場からすると、先生が仰ったように介護医療、家族も含めた関係者がどういう方向性でいくかというのを特に看取りの場合は最初に相談をして決めているとは思いますが。ただご家族が弱っていく姿を見ながら、心情が揺れて人の訪問が頼りになる反面それも負担になってくるというのも目の当たりにすると、ケアマネジャーの出る幕が本当になくなってくるというか、あえて引いていかなくてもいけないな、と感じる事があるんですね。実際にケアして下さる方が前面に立っていく報告の中でやっぱりご家族様が精神的に疲れてきている、自宅で看取るとなるとには最期まで看なさやいけないんじゃないかと思っているご家族の方も多いいんです。変更してもいいんですよ、とお話をして病院へ変更になるケースもあります。その辺りがまだ地域で看取っていくという社会的な認知度がまだまだ低くて自治体によっても差がありますし、自宅でのお看取りをやりたくても出来ない方もいると思います。比較的この練馬地域は恵まれていると思います。

回答：何回も入る必要があってもここは社会的理由なんです、人員がないという事がありますので、新規の依頼が来てもどうしようもないケースもあるんですね。それでケアマネさんの依頼もお断りさせていただく事もございます。

★今仰っていたように医療の不安だけじゃなくてご家族にとってもご親族で初めてのケースが多いと思うんですね。やっぱりやれると思って途中で気疲れしてしまったり自分の仕事もあつたりで思ったより心身共に疲れ果ててというケースもありました。

★今のお話で定期巡回から訪問介護切り替えたとするのはどういう意味ですか？

回答：排泄介助で入ったケースですが、看護師さんとお医者さんも入っていました。尿量も少なくなりそんなに介護の方が必要なくなって医療の需要の方が増えてきたので介護の量を減らした為です。

★事業所を変えたというわけではないのですか？

回答：うちの方で訪問介護として1日2回の訪問に切り替えて毎日看護師さんに入っただけにしました。

★定期巡回は良いサービスですが、訪問看護としてデメリットは訪問介護から定期巡回に切り替えたくても訪問看護事業所が連携を結んでいないと訪問看護の事業所を変えないといけないというところですか？

回答：そうなんですよ。定期巡回って訪看さんもまるめですので、単価も安いし中々連携してくれる訪問看護事業所が少ないんですね。自社と限られた看護ステーションしかないの定期巡回の依頼が来ても、利用者さんは今までの看護師さんをお願いしたいので定期巡回のサービスを使わないという方もいらっしゃいます。多くの看護ステーションさんが連携してくれると助かるのですが、単価の問題などで引き受けてくれるところが少ないです。医療保険でしたらどこも使えるので、医療だったら今使っているところの看護師さんを継続して落ち着いた頃にこちらと連携をしている看護ステーションに切り替えていただくというケースもございます。

★癌末がいたら医療なので関係がないのですが、それまでの介護保険で入る時は、連携をとっているところじゃないと導入が難しいという事ですね。今のケースだと変えてもいいよという事になって心理的にずっと連携してきているのに提案しづらいですね。

回答：定期巡回の問題点としてとのあたりがあると思います。訪問看護の方も皆さんが手を挙げていただけるというのは難しいというところもありますし、定期巡回の事業所も区内でも多いわけではないので、範囲を広げられないという問題点もあります。他の自治体では定期巡回を導入していないところもかなりありますので、地域差が出ていますが、問題点として挙がっていないのではないかと思います。

★看護師さんの話があるので、定期巡回になると当然ながらヘルパーさんも今まで入っていたところを切り替えるという事ですね。

回答：そうです。

★看護師さんには依頼をいただいた時に明らかに今後定期巡回の方がいいな、という方は最初に訪問介護で入っても、今後切り替わりそうだといい事であらかじめお願いをするようにしています。

回答：やはり慣れたヘルパーさんなら複数回入っても大丈夫だけど、初めてのヘルパーさんにいきなり複数回入られるのは嫌だという方もいらっしゃいますね。

★今でも連携して下さるのですか？

回答：それは大丈夫です。

★今連携されている事業所さんの数はどれくらいですか？

回答：自社のSOMPOケア中村橋の他3社です。

★人員不足の話がでたと思うのですが、現在7月の段階で利用者10名という事ですが、最大受けられて何名くらいまで可能ですか？

回答：訪問回数によりますが、要介護1で1日1回しか入らない場合は15名くらいは取れますが、要介護4から5で1日4～5回の訪問でそういう方が10名いらっしゃると厳しくなります。

★この実績報告をみると常に満員状態という感じですね。提案をするタイミングを考えた時に前広に頼んだ方が良いという事と、頼んだとしても結構厳しい可能性が高いと思いつながら提案の前に考えておいた方がよろしいですね。

回答：そうですね。でもタイミングもあります。長年使われている方って病状が安定しているで、そういう方の時間を変更することによって重症な方でどうしてもこの時間じゃないとならないという方を優先にして受けられるという場合もあります。

★今もコールバックはやっていますか？安否確認に行くまでもないけどという方が対象ですか？

回答：やっています。でもアセスメントして必要のある方です。今このような暑さですので、水分を取っていただくためにコールバックしたりしています。

7.協議会メンバーからのご連絡

ホームクリニックえにし 天本先生より

5月に開業しまして、6月・7月と勉強会を月に1回開催しております。ホームページに毎回アップしております。6月は排尿障害、7月は糖尿病についてです。約30分程度のご参加を頂いております。来月以降も随時勉強会を開催しております。専門職の方を中心に募ってご参加していただいておりますので是非宜しくお願いします。

8.閉会のあいさつ

本日はお忙しい中ありがとうございました。今後とも地域の皆様の生活を支えていける様に職員一同努力して参りますので、どうぞよろしくご挨拶致します。